

平成30年度福島県立図書館協議会会議録

- 日 時 平成30年11月29日(木)
午前10時00分～12時00分
- 場 所 福島県立図書館 「第1研修室」
- 出席委員 佐藤 佐敏
佐藤 秀美
三瓶 千香子
佐藤 克也
菊池 克彦
東山 京子
金澤 一成
矢吹 貴美
宮崎 亜古
吉田 ひとみ
- 教育庁社会教育課 主幹(兼)副課長 遠藤 仁
主任主査 十二所 倫子
主 事 菅野 良
- 県立図書館 館長 杉浦 孝幸
副館長 齋藤 圭一
主幹(兼)企画管理部長 藤家 義弘
総括司書(兼)資料情報サービス部長 原 馨
企画管理部主任主査 佐藤 めぐみ
" 専門司書 吉田 和紀
資料情報サービス部 一般資料チーム 専門司書 佐藤 加与子
" 地域資料チーム 専門司書 菅野 由美
" 児童資料チーム 専門司書 鈴木 史穂
" 逐次刊行資料チーム 主任司書 加藤 麻依子
- 1 開 会
企画管理部長(以下「企画部長」。)の進行により開会。
- 2 館長あいさつ及び図書館・社会教育課職員紹介。
(略)
- 3 議長選出
「福島県立図書館協議会に関する条例」及び慣例により、佐藤佐敏会長に議事進行をお願いすることとした。

4 会議成立確認

議長が、委員10名のうち10名出席であり、協議会に関する条例第5条第2項により、会議が有効に成立していることを報告した。

5 議事録署名人の選出

議長が、議事録署名人の選出については議長指名でよいか諮り、「異議なし」を確認し、東山委員及び吉田委員を選任した。

6 議 事

(1) 報告事項 平成30年度図書館利用実績について

事務局（総括司書（兼）資料情報サービス部長。以下「総括司書」。）が資料1に基づき説明。

その後意見を求めた。

東山京子委員 入館者数はどのようにカウントしているのか数えてほしい。

総括司書 入口にセンサーがあり、それでカウントしています。こどものへやの入口にも設置されています。

東山京子委員 美術館側からの入口にもありますか。

総括司書 美術館側からの通路にもあります。

金澤一成委員 1-(5)の調査相談件数の中で、児童の調査相談件数が増えているようですが、具体的にどのような取り組みが、利用の増加につながったのかということをお願い。

鈴木専門司書 児童サービスでは、特に夏休みに自由研究に関する調査相談が増えています。今年、初めて東日本大震災に関することを調べたいという中学生からの相談があったので、スマイルプロジェクトの事業で作成している「本はともだち」という冊子のテーマを「福島を知る・福島を伝える」ということで関連図書の紹介をしています。また、「夏休みの友」の回答に使える資料の紹介を図書館や公民館図書館などにも情報提供するなどの努力をしています。

佐藤会長 地道な努力をされている結果が出ているということですね。

三瓶千香子委員 一般の調査相談件数が少し減っているようです。先ほどの説明では相談の中身が重く専門的な内容になっているということがありました。こ

れに対応するには司書の専門性、検索力が問われると思いますが、調査相談に関する研修の仕方というのは、国立国会図書館の方からの他に何かされていますか。

総括司書 地域資料については2年前からチーム内での事例研修を行っています。今年からは館内全職員でのレファレンスミニ研修会を立ち上げ、今までに1講座を3回に分けて行いました。内容は、国立国会図書館から派遣されている職員から国立国会図書館で使用している便利なツールのノウハウや、国立国会図書館から戻ってきた職員からインターネットデータベースの活用などを学んでいます。

今後も分野ごとに職員間で研鑽していきたいと考えています。

宮崎亜古委員 質問というより感想になりますが、資料1の7、8ページのところで、県立図書館に来ることができない方へのサービスの充実が大切になってくると思っています。実際に宅配サービスとか遠隔地返却とか受取館指定サービスとかは良いサービスだと思っています。統計を見て、これらのサービスがしっかり利用されているというのを知って、うれしく思いました。今回の統計のまとめは、ホームページのアクセス件数では横断検索の件数が増えているなど、時代の変化に合わせたサービスの在り方を見直すきっかけになったのではないかと感じました。

先ほどの説明で、宅配サービスは自己負担があって利用が伸びないということがありましたが、利用が少なくてもなくさないでほしいです。

国立国会図書館との人事交流については、図書館の業務は閉鎖的というか自分のところで頑張ってしまうという傾向がある中で、自分たちだけでなく外から得る知識により、具体的に間口や視野を広げることは、図書館のため、利用者のためにも有効であって、目には見えないですが、先々大きく違ってくると思うので、今後も頑張ってもらいたいと感じました。

総括司書 ありがとうございます。

佐藤会長 激励ありがとうございます。

それぞれのところで成果が表れていて、数値が少ないところも的確に把握されていて、それについてどのように対処するかを説明いただきました。

(2) 報告事項 朝河貫一没後70年記念展示開催報告について
事務局（総括司書）が資料2に基づき説明。

その後意見を求めた。

三瓶千香子委員 質問が二点あります。ひとつはホームページの開設が4月27日からとありますが、開設期間の期限は設けていますか。

総括司書 現在の名称が「没後70年」となっているので、来年度については名称を変えて、内容も精査して期限は設けずに継続的に掲載していく予定です。

三瓶千香子委員 もう一点は資料目録の発行部数が200部というところで、発行部数が若干少ないと思いました。こちらをどこに配布するのでしょうか。人物思想を研究するうえでは、こういう目録は大変貴重だと思います。

総括司書 配布先としましては、県内の公共図書館、朝河博士関連の団体を考えています。200部にしたのは、冊子体の他にもホームページへの公開も予定しているので、そちらでの利用もできるようにしているからです。

佐藤会長 残部はありそうですか。

総括司書 若干残ると思います。研究者からの要望があった場合には、残部があれば対応したいと思います。

佐藤会長 この事業は継続して実施されるということで、よろしくお願いします。

(3) 報告事項 只見線応援企画実施状況について

事務局（企画部長）が資料3に基づき説明。

その後意見を求めた。

矢吹貴美委員 只見線応援企画ということで、会津の企画をしていただいております。気になったのは今回の企画をするに当たり、会津図書館等との連携、協力、資料の問い合わせなど情報交換や情報提供はされたのでしょうか。

吉田専門司書 今回は福島市に立地している県立図書館で、奥会津の只見線に関する情報提供をするということを第一のコンセプトとして考えたので、会津図書館との連携はしていません。

矢吹貴美委員 今後もこのような企画をするときには会津図書館とも情報の共有や連携をしてほしいと思います。会津図書館の資料を紹介することができれば、会津にもいろいろな資料があるということを知ってもらえる機会になると思います。

吉田ひとみ委員 只見線を利用していると、撮り鉄が増えていたり、利用者も増えていくということを感じています。県立図書館での企画により、会津も盛り上がると思うので、1月の企画をする際には会津と連携してほしいと思います。この取組は、中学校の生徒や会津の子ども達が只見線に乗るきっかけづくりになると思います。

東山京子委員 只見線応援コーナーに観光パンフレットがいろいろと置いてあったのを見て、行ってみたいと思ったので、この企画は効果的だと思いました。

佐藤会長 それでは次の議題に移ります。

(4)協議事項 「福島県立図書館アクションプラン（第三次）」の取組について
事務局（企画部長）が資料4に基づき説明。

その後意見を求めた。

三瓶千香子委員 感想が一つと質問が二つあります。一つ目は子ども向けの事業のところです。児童や中学生を対象とした事業が多いですが、高校生や大学生など、子どもの範囲はどこまでなのだろうと思います。高校生向けにはビブリオバトルとか聖光学院での授業などを実施していますが、子どもの本離れや活字を必要としている高校生とか大学生は子どもには入らないののだろうかという感じを持ちました。事業に偏りがあると思うので、もう少し高校生など若者向けの事業も展開してもらいたいというのが感想です。

質問の一つ目は、ツイッターについてです。発信件数は分かりましたが、フォロワー件数の目標というのは持っていますか。一般的には発信した数ではなくフォローしてどれだけ見てもらうのが目的であるので、フォロワーが増えないと効果がないと思います。フォロワー数の目標や、増やすための取り組みは考えているのか教えてください。

吉田専門司書 ツイッターに関しては試行の段階なので、フォロワー件数の目標は定めていません。現在は47と少ないので、発信する情報を一般的な広報よりもくだけた形で、例えば図書館の日常的话题など気軽に見てもらえるものを発信したいと考えていますが、どうしても事業の案内になることが多くなってしまうのが課題と考えています。多くの方が興味を持ってもらえるような内容を発信していくことで利用の増加を目指していきたいと考えています。

三瓶千香子委員 最後に、国会でとりあげられているように、今後は外国人の利用者が増加することが考えられますが、先ほどの事業の説明の中には、外国人

向けの取組みというのがありませんでした。アクションプラン自体にはなくても、外国言語や外国人からのレファレンスへの対応について、今後の計画はありますか。

総括司書 具体的なものはアクションプランの計画には盛り込んでいません。過去には利用案内を英語と中国語で作成していたことがありました。外国語図書コーナーで資料は揃えていますが、コーナーについて積極的なPRはしていません。現在も利用者の中には外国の方もいますし利用者登録もされているので、外国人への対応は図書館として取組んでいくことだと承知しています。

吉田ひとみ委員 あづま号の運行ありがとうございます。磐梯町の公民館図書室の本の種類も良くなってきているのか、利用している人が増えていると感じています。公民館の職員が変わって、あづま号から借りる図書の傾向が変わったのかもしれませんが、以前よりも多くの方が本を広げているのを見受けます。中学校の図書室の開館時間を短くしたこともあって、中学生も公民館図書室を利用しています。本が好きな子のニーズに合わせていただいてありがたいと思っています。

もう一つは、中学校ではSNSの利用について問題になっているので、学校のインターネットの利用環境には制限を設けています。そのため、ツイッターについて、中学生は学校では見ることはできません。ツイッターを始めるにあたって、公共の学校では見られるのかを確認してから始めたのかということと、インターネットの利用環境について検討したのか教えてください。

吉田専門司書 今回のツイッターの試行を開始するに当たっては、見る側の対象者として子どもたちがどういう環境にあるかまでは検討していないというのが実情です。

佐藤会長 ターゲットをどうするのかということだと思います。

吉田専門司書 課題として認識したいと思います。

金澤一成委員 要望として一点あります。3ページの「東日本大震災等の記録を残します」の2にある「防災教育」「放射線教育」のところですが、基礎的な知識は当然ですが、福島には復旧復興に関して、防災・減災など積み上げたノウハウがあります。農業に関することや、他のことについても、基礎的な知識を得た後に、どうしたらいいかという実践的な対応について、福島の子どもたちには知ってほしいと思っていますので、支援セットの活用については考えてほしいと思います。

なおかつ10ページにある「福島を知ることができる図書館」であるために」にもあるように、ふくしまに関する情報を県外に発信することで、風評被害の払拭にもなると思います。

吉田専門司書 防災教育、放射線教育のセットの編集については、具体的には次年度から編成に入ります。今年度は枠組み作りをしていきますので、揃える資料やその使い方については、学校や市町村教育委員会の意見も聞いて進めていきたいと考えています。

金澤一成委員 よろしくお願ひします。

総括司書 付け加えて説明します。復興ライブラリーには1万8千冊の資料が集まっています。平成24年からの貸出は延べ3万冊で、平成27年からは体験談のようなものが借りられる傾向にあります。今後も継続して収集し、本を紹介するブックガイドの作成や、新聞における関連記事の見出し一覧を作成して公開したり、パスファインダーもテーマ別に作成して、学校にも情報提供は続けて行きます。防災・放射線教育だけでなくいろいろな情報を発信をしていこうと考えています。

菊池克彦委員 図書館のシステム更新にあたっては、新しい情報提供とデジタルライブラリーのコンテンツの充実が必要だと思ひます。システム更新にはお金がかかると思ひますが、どの程度の予算でという方向性で考えていますか。システム更新の費用は通常の図書館の予算の中になってしまうのか、別枠となるのでしょうか。システム更新のためにいつもの予算が少なくなるのは問題だと思ひます。

吉田専門司書 次期システムについてデジタル化した資料の活用は一つの大きな柱と思ひています。基本的な柱として考えているものは三つあります。まずは図書館サービスの全てをまかなうシステムの安定した稼働の仕様構成、県立図書館として市町村の図書館の図書館として市町村図書館をサポートする役割をはたすポータルサイトの利便性、デジタルライブラリーの活用の三点と考えています。館内での仕様を検討するのが今年度のスケジュールとなっていますので、まだ詳細は未確定です。予算についても金額面も含めてまだ申し上げられない、分からないという状況です。現状の維持運営にかかっていると同等の金額を計上していくことになるのではと思ひています。

企画部長 システム更新にかかる予算の計上については、これからになるので、菊池委員が懸念されている資料購入費への影響がでないように、確保しながらやっていきたいと考えています。

宮崎亜古委員 感想になってしまいますが、システム更新にはお金がかかることですが、図書館運営の基幹であり、資料を管理していく上で大事なことから予算の確保は難しいと思いますが、しっかり妥協しないで仕様を作ってほしいと思います。県立図書館は、県内の図書館をサポートする立場なので、いろいろとやっていただきたいです。

デジタルライブラリーの充実についてもお金がかかりますが、朝河貫一の資料のように貴重なものこそデジタル化してホームページにアップして世界から見られるようにするのも大事なことだと思うので、システム更新作業の際には考えてほしい。

書庫の狭隘化も課題だと思います。資料を保存することも県立図書館の大事な業務です。外向けには閉架への理解はされにくいと思いますが、図書館としてはこれがないと運営できないので、遠慮せずに予算要求をしてほしいです。

学校図書館のことで学校や公共図書館での経験がある立場から思っていることがあります。

相双地方で開催された研修に参加した際に、司書教諭や社会教育担当の先生が、がんばっている姿を見えています。図書館の仕事としては、学校も公共も同じはずですが、学校の考え次第だと思いますが、学校独自のがんばりが結果につながるという状況の中で、担当の先生やボランティアや学校司書には大変な現場となっています。相談できる相手として県立図書館がこういった方を結びつける役割をしてほしいと考えています。今現在では相談先になるような仕組みはとっていますか。

吉田専門司書 資料の6ページの「子どもを取り巻く大人への研修の取り組み」にも明記しましたが、各教育委員会や教育事務所で主催している研修について、依頼があれば職員を派遣しています。その他の依頼へも対応しています。当館の支援体制について体系化したものは作っていませんが、教育委員会や教育事務所、学校により支援する内容と環境が違っていると思うので、社会教育課を通してコミュニケーションを密にできるような連携をしていきたいと思っています。

宮崎亜古委員 仕組みづくりは難しいと思いますが、社会教育課の方もいらっしゃっているので、ぜひ、がんばっている先生などに情報をつなぐ役割を担って欲しいです。情報を共有できれば、次の第一歩を踏み出すことができ、それは子どもたちのためになると思うので、よろしくをお願いします。

遠藤仁主幹 市町村とは連携や協力をしていきたいと考えています。現状としては、読書活動の推進事業で関わりを持っています。学校図書館との連携については、学校図書館を担当している義務教育課と社会教育課の連携が重要と考えているので、今後進めていきたいと思っています。

矢吹貴美委員 学校図書館に配置されている司書が増えていますが、学校図書館司書や司書教諭への研修は考えていますか。

吉田専門司書 学校司書、司書教諭への研修は当館の事業としては組みにくい面もありますが、初任者については図書館・公民館図書室研修会の対象として周知を行っています。5年前から分科会で学校図書館部会を設けていて、当初からは受講者が増えております。今年度は30名程度の参加者がありました。また、各種研修についても本来は対象ではありませんが、学校図書館にも通知を出しています。

矢吹貴美委員 高校も対象にしていますか。

吉田専門司書 高校も対象にしています。高校の司書でつくる団体や、学校の図書部で構成している団体にも研修の参加について声をかけています。

矢吹貴美委員 大学にも図書館がありますが、そちらとの連携はありますか。

吉田専門司書 大学図書館に対しては、小中学校の図書館と同じ対応はできませんが、県内の大学図書館で構成している大学図書館連絡協議会に加盟しており、相互協力ができるようになってきました。あわせて、当館・福島大学図書館・医科大学図書館の三館で「ふくふくネット」という仕組みを作っており、学生への便宜を図り、大学生にも当館を利用してもらうようにしています。

矢吹貴美委員 高校生や大学生の利用が少ない話もあったので、関係を密にしてほしいと思います。連携することで、新しいものが生まれるといいなと思います。

鈴木専門司書 今年の8月3日に、小学校教諭と学校司書向けの当館の見学会を開催しました。県立図書館が行っている支援事業についても説明を行いました。

館長 県立高校に限ると、司書は高校に行くと一人職場になってしまうので採用後は県立図書館でスキルを身に付けてから高校に異動するような人事サイクルをとっています。

佐藤会長 貴重なご意見をありがとうございました。

(5) その他

佐藤会長 委員の皆様から何かございますか。

委員 なし。

佐藤会長 事務局から何かありますか。

副館長 特にありません。

7 議事終了

佐藤会長 以上をもちまして本日の議事は終了します。

最後に企画管理部長が、議事録署名人に選任された委員に対してご確認、ご署名依頼をした。

8 閉会

議事録署名人 _____ (印)

議事録署名人 _____ (印)